



一般財団法人 日本環境衛生センター

JESC-INFO

JESC-INFO(ジェスクインフォ)は、日本環境衛生センターの活動について、最新のトピックスやイベント情報等を随時紹介します

No.20220925

2022.9

ホットトピックス

【報告】環境と衛生のオンラインセミナーを開催

一当センターで毎月開催しているセミナーをご紹介しますー



■第6回 7月26日

テーマ・講師：

「リチウムイオン電池対策について」

環境省 山田 浩司 氏

「ごみ処理における

リチウムイオン電池の諸問題について」

当センター 荒木 徹

山田氏より、一般廃棄物処理におけるリチウム蓄電池等の現状と環境省の取り組みや、「リチウム蓄電池等処理困難物対策集」のポイント等を紹介いただきました。当センター荒木より、リチウムイオン電池の発火のメカニズムや対策集の概略まとめ、対策実施の留意点と課題、先進対策事例を紹介しました。聴講者は330名と、本件への関心の高さがうかがわれました。

■第7回 9月7日

テーマ・講師：

「改正大気汚染防止法等の施行と
各種マニュアルの改正等の対応」

環境省 児玉 康宏 氏

「アスベストに関する改正大気汚染防止法」

当センター 鈴木 弘幸

児玉氏より、同法の改正ポイントの解説や今後の対応等が紹介され、来年10月から有資格者による石綿含有建材に関する解体等工事前の事前調査が義務付けられるため、建築物石綿含有建材調査者の計画的な育成が急務と示されました。当センター鈴木より、石綿に関する基礎知識や関連疾患、関係法令、当センターの建築物石綿含有建材調査者講習等を紹介しました。聴講者は243名でした。

次回以降の予定 ★毎月テーマを変えて開催

第8回「アジアにおける大気環境改善に向けた日本の経験・技術の活用（仮題）

ー中国、タイ、インドを中心にー」

講師：環境省担当官、日本環境衛生センター

日時：10月5日(水)13：30－15：00



【お知らせ】「第66回 生活と環境全国大会」の開催

10月24日(月)・25日(火)に、「地域から始める！脱炭素社会の実現に向けて」をテーマに、千葉県千葉市の幕張メッセ(国際会議場)にて開催します。参加方法・プログラム等の詳細情報は以下のURL等からご確認ください。

【第66回生活と環境全国大会】紹介ページ

<https://www.jesc.or.jp/training/tabid/141/Default.aspx>

* 参加には事前登録が必要です。上記からお申込みください。

* 一部プログラムはオンデマンド配信も行う予定。

期間：11月14日(月)～12月23日(金)を予定。





ホットトピックス

【お知らせ】『九州・沖縄脱炭素地域づくりサポートブック』 が公開されました（センター受託事業）

地域脱炭素に取り組む地方公共団体等の皆様に向けた、国の支援施策や九州・沖縄地域における活用事例等を1冊にまとめたサポートブックが公開されました。地方公共団体と連携して地域脱炭素に取り組む民間事業者の方もぜひご活用ください。（環境省九州地方環境事務所からの受託事業の一環として、当センターが作成のための作業を行いました。）

関連サイト» [九州・沖縄地域脱炭素推進会議](https://kyushu.env.go.jp/earth/mat/post_49.html)

https://kyushu.env.go.jp/earth/mat/post_49.html



【報告】ACAP研究員が「大気環境学会学会学術賞」を受賞

9月15日、(公社)大気環境学会主催「第63回 大気環境学会年会」にて、アジア大気汚染研究センター（ACAP）生態影響研究部長の佐瀬裕之が昨年の情報管理部長の大泉毅に続き、同賞を受賞しました。

関連サイト» [大気環境学会](https://jsae-net.org/)

<https://jsae-net.org/>

[アジア大気汚染研究センター](https://www.acap.asia/)

<https://www.acap.asia/>



【報告】蚊の駆除訓練に参加

8月29日、(公社)東京都ペストコントロール協会が感染症媒介蚊防除訓練を開催しました。本訓練は、蚊媒介性感染症発生時の防除手順の確認及び未経験者の研修・訓練の場として、令和元年の実施から3年ぶりに開催されました。当センターは関係機関として参加し、蚊の密度調査および感染を想定した蚊の捕集を行いました。

【報告】「革新的な省CO2実現のための部材や素材の社会実装・普及展開加速化事業」追加公募結果について

当センターは、環境省の「革新的な省CO2実現のための部材や素材の社会実装・普及展開加速化事業」の補助金交付事業を行っています。対象は、セルロースナノファイバー又は窒化ガリウムを活用した製品等の製造に要する設備の導入を行う事業です。

本事業の令和3年度追加公募を4月に実施し、厳正な審査を経て、株式会社吉川国工業所(奈良県葛城市)を補助事業者として採択し、7月21日に交付決定を行いました。

同社は、プラスチック日用品雑貨の企画・製造・販売を行っており、アウトドア市場の拡大を背景としたアウトドア用品の収納需要を見込んで、セルロースナノファイバーを含有した高剛性で軽量のスタックアップコンテナの製造・販売を目指して補助事業に応募しました。今後、低圧による発泡射出成型機や関連設備を導入して商業生産に繋げ、環境意識の高い生活者に向けて CO2 削減効果の高い製品の提供を目指すことになります。

関連サイト» [株式会社吉川国工業所](http://www.yoshikawakuni.co.jp/index.php) <http://www.yoshikawakuni.co.jp/index.php>

[部材や素材の社会実装・普及展開加速化事業](https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/425/Default.aspx) <https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/425/Default.aspx>